

元長薬発第 695 号
令和元年 10 月 16 日

地域薬剤師会学校薬剤師部会長 様

長野県薬剤師会学校薬剤師部会長
日 野 寛 明

台風 19 号の被災による学校関係施設等の衛生管理の徹底について(依頼)

平素、本会の運営に際し、種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記、被災した学校関係施設等について、衛生管理の徹底を求める通知が県関係部局より県立学校等、各教育事務所及び市町村教育委員会宛送付され、併せて県保健厚生課長より本会会長宛に、各学校から学校薬剤師に問い合わせがされた場合は、学校薬剤師に適切な対応を依頼する通知がありました。

つきましては、貴職ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、水害時の消毒方法について参考資料及び参考情報を紹介しますので、貴部会会員にご周知いただき、各学校から問い合わせがあった場合は適切に対応いただきますよう、よろしく願いいたします。

記

・文部科学省 学校環境衛生管理マニュアル P170

http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1292482.htm

・文部科学省 調理場における洗浄消毒マニュアル Part I / Part II

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/1266268.htm

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/1292023.htm

・長野県ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/suigai-kansensho.html>

具体的な水害の後処理として

1. ヘドロの堆積したところは生石灰を撒く、発熱に注意してください。
2. 気になる場所は 10%塩化ベンザルコニウムの 100 倍程度で清拭または噴霧してください。
3. 水道は使用前に十分通水し、必ず水質検査後に使用してください。

(注意点)

クレゾール石鹼やオルソ剤は局所的に使用するときには問題ないですが、水害で広範囲・多量にまいた場合、周辺での臭い公害となります。またその周辺での農業被害も発生す

る懸念があります。そのため、消石灰を乳液状～泥状にしてまくことをお勧めします。生石灰の方は発熱するため、泥の表面を固めて扱いやすくする効果や目印となる効果もあります。ドロマイト石灰(水酸化カルシウム・水酸化マグネシウム)は水に溶けやすく、水と反応しても発熱しない石灰で畜舎消毒用に汎用されています。どれも農業被害を生じにくく自然分解していきます。

また、石灰類を使用する場合は、水に溶けると強アルカリ性となるため、使用する場合には、目や皮膚につかないようにまた口に入らないようマスク・ゴーグル・手袋・長袖のカップ+長靴等充分注意してください。

長野県薬剤師会学薬部会事務局 担当：村松

〒390-0802 松本市旭 2-11-20

TEL:0263-32-0256 FAX:0263-36-0665

E-mail:gakuyaku@naganokenyaku.or.jp